

教 育 委 員 会 会 議 録

令和4年9月定例教育委員会	
開 会 日	令和4年9月27日(火)
開 会 時 間	午後2時30分～午後3時17分
開 会 場 所	佐賀市大財別館4-3会議室
出 席 者	委員 中村教育長 堤 委員 小川委員 吉村委員 撫尾委員 鳥飼委員
	事務局 百崎教育部長 豊田教育部副部長兼教育総務課長 江頭図書館長 米倉教育部副理事兼学校教育課長 星下社会教育課長 横田学事課長 北村社会教育課子どもへのまなざし運動・若者支援推進室長 川副教育総務課副課長兼総務係長 王丸教育総務課主幹兼教育政策係長
提 出 議 案	第14号議案 令和4年度「佐賀市教育委員会表彰」被表彰者及び「佐賀市教育委員会感謝状」被贈呈者について
協 議 事 項	な し
報 告 事 項	な し
欠 席 委 員	0 名
傍 聴 者 数	0 名
報 道 関 係 者	1 名
会 議 録 作 成 者	教育総務課副課長 川副 清隆

日程1 開会の宣告

(中村教育長)

皆さんこんにちは。これより佐賀市教育委員会9月定例会を開きます。

今月ももうすぐ終わりますけれども、台風が二度もやってきて、非常に厳しい状況でした。1回目は大きくはあったのですが九州から離れてくれて思ったほど被害がなかったんですけれども、2回目は、最初弱かったんですが急に大きくなり、史上最強ではないかと恐れられるような台風でした。佐賀はそれほどまで被害はなかったんですけど、唐津にいる知り合いに連絡して聞いたら、唐津はかなり厳しかったようで、大雨や風でたくさんの停電被害も出ているようで、自然の恐ろしさを痛感しています。先日は、東海地方にまた次の台風が来て、静岡県はものすごい大雨で今も断水が続いているということです。台風はこの後もやってくる可能性もありますので、十分気をつけながら過ごしていかなければいけないと思います。また、2回の台風はどちらも学校が避難所になりました。学校での避難所対応等についても、学校と連携しながら進めなければいけないと痛感した次第です。

それでは、委員会に入らせていただきます。

本日は、6人中6人の委員が出席しておりますので、適法に委員会が成立いたしております。

ここで会議の非公開と日程についてお諮りいたします。

本日の提出議案は1件となっておりますけれども、第14号議案『令和3年度「佐賀市教育委員会表彰」被表彰者及び「佐賀市教育委員会感謝状」被贈呈者について』は、会議を公開することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるため、佐賀市教育委員会会議規則第13条に基づき、非公開とさせていただきます。

さらに、非公開とした第14号議案の審議を日程5の「その他」の後とし、公開事項を先にご審議いただきたいと思っております。ご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

日程2 会議録の承認

(中村教育長)

それでは、日程2、会議録の承認です。事務局より会議録の報告を求めます。

(川副教育総務課副課長兼総務係長)

8月23日の定例教育委員会の会議録につきましては、先日、皆様にお送りしたとおりでございます。よろしく願いいたします。

(中村教育長)

報告は終わりました。報告内容に質疑はございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がないようですので、会議録は報告のとおり承認いたします。

日程3 教育長報告

(中村教育長)

次に、日程3、教育長報告をいたします。

今回から新たにタブレットを活用して会議を行うということになっております。資料を開いていただけますでしょうか。先月末から今月の行事について報告いたします。

まず、8月24日に成章保育所で公開保育がございました。小川委員さんにも参加していただきましてありがとうございます。規模の小さい保育所で、一人一人にきめ細かく関わることができるという利点はございますけれども、友達同士や保育所以外の人たちと関わることが少なく、特に今はコロナ禍の中でなかなかそういうこともできないということで、幼児なりのコミュニケーションをどう育むかが課題だというふうに所長の古川先生もおっしゃっていらっしゃいました。保育を見させていただいて、先生方が子どもたち一人一人に関わりながら、自分たちの遊びを工夫させたり、友達同士でルールを考えさせたりするような取組をされていて、本当に素晴らしいと思いました。こういう取組は小中学校にもとても役に立つと思っています。小学校は幼保小連携の取組、中学校は家庭科で保育体験というのがありますので、そういうものとの関わりを考えていく上でも、公開保育というのは本当に大切だなと思いました。小学校の先生が何人か参加されておりましたけれども、できれば中学校の先生や管理職の先生方にも参加していただければありがたいと思い、先日の校長会でこのこととお話しさせていただきました。

次に、8月25日に学校総括安全衛生委員会が開かれまして、先生方の労働環境や勤務状況、健康状況等について検討させていただきました。校長先生の代表、先生方の代表、衛生推進者である教頭先生、養護教諭、保健主事などが参加して、現場の実態を率直に話していただきました。働き方改革との関連もありますし、先生方が健康で毎日生活できるということは、それは直結して子どもたちの指導に生かされるわけですので、これは大切なことだと思っています。若手が非常に増えてきていますけれども、子どもへの対応や保護者への対応でかなり苦勞されている方もいらっしゃいますので、学校組織としてそういう方々に対してどういうふうに支援をしていくのか。それから、産業医であります早津江病院の松永院長先生にも来ていただきましたので、専門家の観点からいろいろアドバイスもいただいて、学校での職員への関わり方やカウンセリング等についてご助言をいただきました。これについては、今後も推進していきたいと思っています。

8月28日は2つ行事があるんですけど、1つは、障がい児夏休み教室というのがありまして、県庁1階の県民ホールでビッグアートといって、大きな広用紙に障がいを持つ子どもたちが自由に絵を描いたり、創作活動をするような取組をされていました。前もお話しさせていただきましたけれども、主催者の内田勝也さんは、私の本庄小時代の教え子でもありますので、内田さんといろんなお話もしたかったですけど、ご都合でその日はご欠席だったんですが、西九州大学短期大学部の先生やボランティアの学生さん、保護者の方々と一緒にいろんなお話ができました。また、素晴らしい絵を創作している子どもたちもおり、こういう個性を持っているんだなというのを強く感じたところです。いろんな人がこのような交流の場でコミュニケーションを図れることがとても大切だなと思いましたので、また来年もぜひ続けてほしいと思っています。内田さんには後でメールを送りましたが、来年も頑張りますと言ってくれましたので、続いていくものだと思っています。

もう一つの行事は、まなざし運動のテーマソングであります「まなざしアーチ」を作ってくださいました弓削田健介さんの音楽活動15周年記念コンサートと、ティーンズミュージカルSAGAの公演が美術館ホールでありました。私は家族との関係もあつてご招待をいただき行かせていただいたんですけども、弓削田さんからは、青森県に住む光冠（コロナ）という名前の男の子のお話がありました。保護者の方はいろんな思いを持って光冠（コロナ）という名前をつけてくださったんですが、このコロナ禍の中で本人がとても苦しんだということだったんですね。何で自分はこんな名前なんだろう、自分の名前でみんなが苦しんでいるということで、とても心を痛めていたそうなんですけれども、それをネットで見られた長野県警OBの山田さんを含めた5人の方々が、弓削田さんが作られた「しあわせになあれ」という歌を歌ってCDに録音して、これに合わせて、絵本作家の松成さんという方が作られた同名の絵本とともに贈ったそうです。

この歌は、名前というのは、親がつけてくれた大切なものなんだということを歌詞にあらわしたものなんですけれども、それを光冠（コロナ）君がとても喜んで、何でもみんなこんなに優しいんだろうと、自分の名前が大好きとってくれたという、そういうご紹介を涙ながらにされました。私も本当に感動して、音楽が人に与えるすばらしさというのを感じました。

ちょっと幾つか飛ばしまして、7番目です。全九州ろうあ者大会というのが佐賀市文化会館で開かれました。九州管内のろうあ者の方と手話通訳者の方の研修会を合わせた合同会で、残念ながら開会式のみ参加でしたが、開会式の前にろうあ者の方と手話通訳者の方々が会場にたくさんおられ、手話で生き生きとお話をされていました。その方々がいかに人とのコミュニケーションを求めているかということと、手話というのが本当に言語として成り立っていることをつくづく感じました。挨拶は知事と市長がされたんですけれども、自己紹介の一部は手話でされていました。自分も自己紹介ぐらいは手話でできないといけないなと思いました。今後もこういう会にはぜひ参加させていただいて、今度は私は中村祐二郎ですぐらいいは手話でできるようにしたいと思います。

8番目です。大財別館に来られて周りを見られた方は分かれたかもしれませんが、市役所職員による河川清掃をしました。すぐ南側の堀には長く水草が茂っていたところがあったんですけれども、1時間ぐらいの作業で本当にきれいになりましたし、大財別館の周りもたくさんの雑草が生えていたり、垣根が茂っていたんですけれども、すっかりきれいになりました。たった1時間でこんなにきれいになるというのは、一人一人の力が合わさったものだなと感じました。これから10月にかけて市民一斉清掃が各地で開かれますけれども、きれいなまちづくりのために、ぜひ多くの市民の方にご協力いただきたいと思います。

それから、市議会の一般質問の内容を書かせていただいておりますが、今回も教育委員会にはたくさんの質問がございました。この中から幾つかお話をさせていただきたいと思います。

2番目の川崎議員は、不登校対策とコミュニティ・スクールの推進ということでお話があり、不登校対策については、現在の不登校の状況等と今後も頑張ってほしいというエールを送るような内容でした。コミュニティ・スクールについては、堤委員さんも赤松小で推進していただいたんですけれども、川崎議員も白石の学校の校長先生をされていたときにコミュニティ・スクールだったということで、佐賀市でもっとコミュニティ・スクールを増やし、コミュニティ・スクールのよさをもっと広げてほしい、教育委員会にエールを送るという意味での質問でした。佐賀市は、ほかの市町のように全部の学校で一斉始めるのではなく、ある程度気持ちが醸成されて一緒に頑張っていきたいと思います。手を挙げたところから一つ一つ着実にやっていることをご説明し、今後も頑張っていきたいとお話ししたところです。

4番目の永渕史孝議員は、学校給食についてということで、今の黙食をどうにかならないかということでのお話でした。黙食については、第7波も少しずつ収束に向かってはいますが、以前に比べるとまだ多くの感染者数が出ておりますし、国や県の方針も基本的には変わっていませんので、黙食についてはこれからも続けていきたい。ただし、子どもたちが楽しく給食を食べることは大切なので、例えば、給食を食べた後、マスクをつけたら話をしているよといったことを各学校に伝えていきながら、子どもたちが楽しい学校生活を送れるように工夫をしていますとお話しさせていただきました。

10番目の御厨洋行議員の子どもの教育については、非認知能力についてご質問がありました。これは、いわゆる学力と言われるような点数化されたものではなく、自己肯定感とか、一人一人が自分のよさを発揮しながら生かしていくために、学校や先生方がしっかり子どもたちに関わっていくことが大切だということで、いわゆる認知能力じゃない部分での力を身につけさせてほしいという思いで話をされ、私からは佐賀市で取り組んでいる開発的生徒指導のお話をさせていただきました。御厨議員は、佐賀市が取り

組んでいるやり方についてはご納得をいただいて、とにかく頑張っていきたいと思いますということでお話があったんですけども、この非認知能力について本を書かれた方が今度佐賀市に来られるということで、今度お話をさせていただくことになると思うんですけども、私もまた勉強をしていきたいと考えております。

最後、新型コロナウイルス感染者の全数見直しについては大分前に始まりましたので、資料を読んでいただければと思いますけれども、別紙の文科省の概算要求について幾つかご紹介したいと思います。最初のページが小学校における35人学級の推進ということで、小学校第4学年が35人に引き下げられます。佐賀県は1年先に進んでいますので、できれば5年生までしていただければありがたいと思っておりますが、これについては予算の関係もあるのでまだはっきりとはしていませんけど、早ければ、再来年度には小学校全部35人学級になるかもしれません。それが終わったら、中学校で進んでいくことになると思いますが、ぜひ少人数できめ細かな授業が進められればと思っています。それから、高学年専科について、小学校高学年における教科担任制ということで、950人ついているんですけども、全国で950人なので、佐賀県はいつもこの100分の1ぐらいと言われているので、よくて9人から10人、佐賀市はその5分の1ぐらいですから、2人程度になります。だから、大規模校2校に1人ずつ配置できればいいほうかなという気がしています。ただ、この高学年専科というのは、専門的な力量を持った方々に、外国語とか理科とか算数とか、そういうものでご指導いただけるので、担任の負担軽減というだけじゃなくて、子どもたちがそういう専門性の高い先生に習うことで、その学習に興味を持ってしっかり取り組むことができるので、学力向上等にもつながるんじゃないかなと思うので、これは推進していきたいと思っております。

それから、ちょっと飛ばしていただいて、教員業務支援員の配置を拡充ということで、いわゆるスクール・サポート・スタッフと言われる職員になります。現在、各学校に配置しており、当初のコロナウイルス対策だけではなく、プリントの印刷やデータ入力、いろいろな学校行事等に関わっていただいております、本当に各学校は助かっています。このスクール・サポート・スタッフは継続してほしいと要望されている中、いつまで続くか分からないという非常に厳しい状況がありますが、一応来年度までは大丈夫ではないかなと思っております。

その次のページは、学習指導員等の配置を拡充となっています。これは学力を高めていくために、一人一人をサポートをする学習指導員というのを配置していくということで、放課後等に学習するのも含めて指導員を配置していくということで、全国で1万8,000人を確保したいということになっています。

その次のページは、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについても、今よりも配置数を増やすという内容です。カウンセラーについては、小学校で不足しているところがあるので、ぜひ増やしていきたいというのがありますし、ソーシャルワーカーについても、福祉的な観点から各学校で対応していただいて、本当にありがたい対応をしてもらっています。ただ、これが全額国費ならありがたいんですけども、国費は3分の1となっていますので、県や市町が残りの予算を負担しなければいけないということになります。従いまして、国がしますよと言っても、予算の関係でこの人数が本当に配置できるかどうかは分からない状況があります。学校に対して、こんなたくさんの予算を充てていただいているんですけども、これはあくまでも概算要求なので、本当に通るかどうかはちょっと分からない状況ではありますが、教育にお金をかけるということはとても大切なことだと思っておりますので、今後とも市教育委員会として国や県に対して要望をしていきたいと思っております。

ちょっと長くなりましたが、以上で終わりたいと思っております。

何か報告内容に質疑等はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑がないようですので、教育長報告を終わらせていただきます。

日程5 その他

(中村教育長)

次は、日程5、その他です。

何かございませんでしょうか。先ほど後に回したものの以外で報告等はありませんでしたか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

日程4 提出議案

(中村教育長)

それでは、日程4に戻って提出議案ですけれども、会議冒頭にご承認いただきましたとおり、会議を非公開とさせていただきますので、傍聴者は退席をお願いいたします。

〔傍聴者退席〕

【非公開】

【公開】

(中村教育長)

ほかに何かありますでしょうか。豊田副部長。

(豊田教育部副部長兼教育総務課長)

今ご承認いただきました佐賀市教育委員会の表彰式及び感謝状贈呈式についてのお知らせをさせていただきます。今年度の表彰及び感謝状贈呈式は11月22日、火曜日の午後1時15分から、このお隣の部屋ですね、大財別館4-1、4-2会議室で開催する予定としております。ご都合がつかれる委員の皆様には、ぜひご出席をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

なお、表彰式及び感謝状贈呈式につきましては、改めて事務局からご案内、ご通知をいたしますので、よろしく願いいたします。

以上です。

(中村教育長)

11月22日、1時15分から定例教育委員会の前になりますので、よろしく願いいたします。

ほかにありますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、これで9月の定例教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

終了時間 午後3時17分